

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|------------------|
| 施設名 | もりのなかま保育園松ノ木園 |
| 法人名 | 株式会社Lateral Kids |
| 法人所在地 | 東京都杉並区松ノ木1-2-23 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

○日常にある物や事象に対しての探究

<テーマの設定理由>

○日常にある物や事象に対して、特色の一つに焦点を当てことで、その物や事象を多角的な視点から捉え、より深く探究することができる。日常的な物や事象をテーマに選んだ理由は、そこに子ども一人ひとりの興味関心を反映させることで、子どもの好奇心を受けとめ、引き出し、新たな発見に導けると考えたからである。

2. 活動スケジュール

6月：体のしくみ～耳～ 7月：片栗粉スライム 8月：氷 9月：小麦粉で何ができるかな 10月：ゼリー石鹸
11月：酢と重曹 12月：みかんの不思議 1月：ムーンサンド 2月：色の魔法

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

○体のしくみ：環境設定として、鈴・ピアニカなどの楽器、組み合わせでさまざまな音を作れるようにあらゆる素材の廃材を準備する。

○片栗粉スライム：オリジナルのスライムが出来るように、白玉粉・米粉・砂糖・塩など身近な素材を準備する。

○小麦粉で何ができるかな：小麦粉、塩、サラダ油と代表的な材料以外に、アロマオイルや砂糖など子ども達が「ほんとに？」と驚くような材料を準備する。

○酢と重曹：水ではなくお湯を入れたらなど、酢・マヨネーズ・ジュース身近な素材に加え、普段目にしない素材も準備する。

○みかんの不思議：環境設定として、風船、発泡スチロール、ペンなど変化を起こす物。みかんの皮以外にも同等の変化が期待できる柑橘類（レモン・ゆずなど）を用意する。

○ムーンサンド：環境設定として、小麦粉、ベビーオイル、酢、ポリ袋、重曹、絵具などこれまで使用し慣れた素材を準備する。スポットも用意し、より実験らしい雰囲気を作る。

○色の魔法：コップ、水、うがい薬、マドラー、レモン汁とこれまでの実験で使い慣れた素材をベースに用意する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

○体のしくみ～耳～：廃材を組み合わせた即席の楽器から出る音は、好きな音？苦手の音？どんな音に似ている？さまざまな音と身近なものとの関係性を探究する。活動中の写真を撮り、子どもたちの吹きをドキュメンテーションとして記録する。

○片栗粉スライム：シェービングフォームを入れたり、出来たスライムを冷蔵庫で冷やしたり、湯煎で温めたり、裸足で出来たスライムを踏んでみたりと五感で感じ、混ぜる事で発生する不思議を探究する。活動中の写真を撮り、ドキュメンテーションとして記録する。

○小麦粉でなにができるかな：様々な形に出来あがった物を通常の粘土と比べたり、色の付き具合や伸び具合など発見したり、混ぜる量を加減すると手に付かなくなったりという不思議を五感で探究する。活動中の写真を撮り、ドキュメンテーションとして記録する。

○酢と重曹：ゴム手袋とコップを使い、重曹と酢が混ざりあう事で起こる化学変化で手袋がどう変化するか。ゴム手袋以外の物で試してみたり、長時間置いておくとうなるか深掘りする。活動中の写真を撮り、子どもたちの驚きと発見の吹きを拾い、ドキュメンテーションとして記録する。

○みかんの不思議：膨らませた風船にみかんの皮を絞り汁をつけてみると、風船はどうなだろう。発泡スチロールにかけるとどうなるか。同じ柑橘類でも同じような変化が起こるのか。「リモネン」という成分の働きを探究する。活動の様子はドキュメンテーションで記録する。

○ムーンサンド：小麦粉とベビーオイルを混ぜ、更に重曹も加える。トレイにさまざまな色の絵具を点状に垂らす。そこへ混ぜた物を加える事で起こる変化を楽しむと同時に、酢の量を変えたり色水を入れてらどうなるか。酢と重曹は汚れを落とす力があるなど変化とそこからもたらされる物質の性質を探究する。

○色の魔法：コップに水とうがい薬を入れ変化を観察。そこへレモン汁を入れてみる。深掘りとして順番を変えたり、他の液体を入れて見たり、冷やす、何と何を混ぜると何色ができるか、と表をまとめてみたりと探究を深めていく。活動中の子どもの姿はドキュメンテーションで記録する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・実践時は保育者も子どもと一緒に「わくわくドキドキ」しながら探究を深める。実践ごとに生まれる子どもの吹きや表情、アイデアに共感し、文章に変換。チェキを利用し子どもの驚く・楽しい表情を記録する。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもとは自由遊びの中で振り返り、職員間では昼礼中に振り返る。玄関の掲示板やクラス部屋の前に掲示し、保護者にも共有。振り返る中で、他のクラスの保育者のアイデアや気づきを参考に、同じテーマを更に深掘りし、子どもたちのわくわくドキドキを広げていく。